

年 月 日

御中

工事名

# 再生骨材 試験報告書

藤コンクリート株式会社  
産業廃棄物中間処理場

〒097-0014 稚内市新光町1825番地2

TEL 0162-33-2700

FAX 0162-73-6603

No. 249359

No. \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

殿

稚内市新光町骨材試験を完了致しましたので御報告致します。

—— 受 注 者 ——

—— 試 験 機 関 ——

建設業登録(第 845号)

地質調査業登録(第 331号)

建設コンサルタント登録(第 5655号)

大地コンサルタント株式会社

代表取締役社長 千 葉 新 次

旭川市4条西2丁目1番12号

TEL (0166) 22-7343

FAX (0166) 22-9333

※ 報告書番号及び内容が原本と一致しないものは無効とします。



## 路盤材料試験総括適否表

藤コンクリート 株式会社 殿

採取月日            令和 7 年 4 月 8 日

報告月日            令和 7 年 4 月 22 日

試料名	アスファルト再生骨材 40~0mm		
規 格	試 験 値	適 否	
フルイ分け試験	下図による範囲内	5.18	
<p style="text-align: center;">加積通過率 (%)</p> <p style="text-align: center;">フルイ目の開き (mm)</p>			
規 格	試 験 値	適 否	
破砕面の判定	—	—	
洗い試験 0.075mmフルイ 通過量 (4.75mm以下) %	15 %以下	8.28	○
最大乾燥密度の測定 g/cm <sup>3</sup>	—	1.926	—
かさ比重	—	—	—

試料名			
規 格	試 験 値	適 否	
洗い試験 0.075mmフルイ 通過量 (4.75mm以下) %			

○ : 合格            × : 不合格

# 路盤材料試験一覧表

N o 249359

藤コンクリート 株式会社

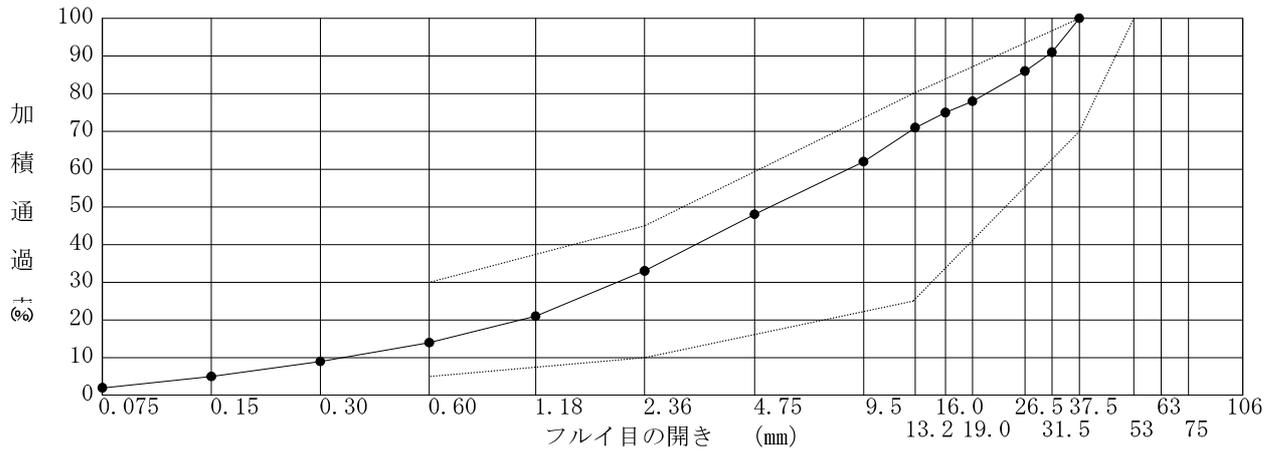
殿

試料 アスファルト再生骨材 40~0mm

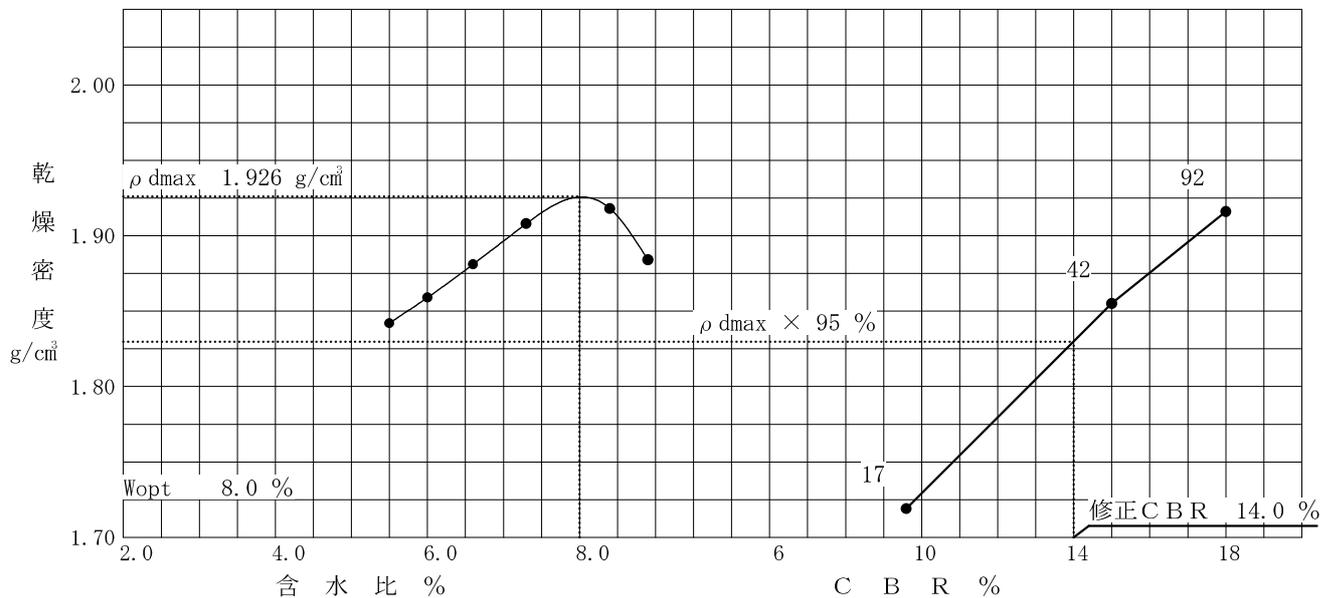
産地 稚内市新光町

令和 7年 4月 22日

フルイ分け試験	舗装試験法便覧	粗粒率	5.30
---------	---------	-----	------



洗い試験	開発土木研究所 付4	全量に対する 0.075mm通過率	3.96	%
		4.75mm以下に対する 0.075mm通過率	8.28	%
密度・吸水率試験	JIS A 1110	表乾密度	2.429	g/cm <sup>3</sup>
		絶乾密度	2.374	g/cm <sup>3</sup>
		吸水率	2.31	%
すりへり試験	JIS A 1121・5001	すりへり減量	-----	%
安定性試験	JIS A 1122	損失量	-----	%
修正CBR試験	舗装試験法便覧	修正CBR	14.0	%
		最適含水比	8.0	%
		最大乾燥密度	1.926	g/cm <sup>3</sup>
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量	1486	kg/m <sup>3</sup>
		空隙率	37.4	%
PI試験	JIS A 1205	塑性指数	NP	
凍上試験	道路土工要綱	凍結様式	1	
		凍上率	10.9	%





開発土木研究所 付4	骨材の洗い試験		報告用紙	
試料名 アスファルト再生骨材40～0mm			試験期日	令和7年4月11日
			試験者名	稲垣憲一
測定番号		1	2	3
A 洗う前の乾燥質量 (g)		5169	5347	
B 洗った後4.75mmフルイにとどまったものの乾燥質量 (g)		2712	2780	
C 洗った後4.75mmフルイを通過し0.075mmフルイにとどまったものの乾燥質量 (g)		2255	2353	
0.075mmフルイを通過した乾燥質量 A - (B + C) (g)		202	214	
(1) 75μを通過する量の全量に対する百分率 $\frac{A - (B + C)}{A} \times 100$		3.91	4.00	
平均値 (%)		3.96		
(2) 0.075mmフルイを通過する量の4.75mmフルイを通過する量に対する百分率 $\frac{A - B - C}{A - B} \times 100$ (%)		8.22	8.34	
平均値 (%)		8.28		

JIS A 1104	骨材の単位容積質量試験及び実績率試験		報告用紙	
試料名 アスファルト再生骨材40～0mm			試験期日	令和7年4月11日
			試験者名	稲垣憲一
測定番号		1	2	備考
① 容器の容積 (m <sup>3</sup> )		0.010	0.010	材料の状態 絶乾状態 試料の詰め方 棒突き
② 試料と水と容器の質量 (Kg)		18.525	18.585	
③ 容器質量 (Kg)		3.695	3.695	
④ 試料質量 ②-③ (Kg)		14.830	14.890	
⑤ $\frac{\text{容器中の試料と水との質量}}{\text{容器の容積}} = \frac{\text{④}}{\text{①}}$ (Kg/m <sup>3</sup> )		1483	1489	
⑥ 含水量測定のための試料の乾燥前の質量 (g)		0	0	
⑦ 含水量測定のための試料の乾燥後の質量 (g)		0	0	
⑧ 単位容積質量 ⑤または⑤× $\frac{\text{⑦}}{\text{⑥}}$ (Kg/m <sup>3</sup> )		1483	1489	
⑨ 平均値 (Kg/m <sup>3</sup> )		1486		
⑩ 表乾比重		2.429		
⑪ 吸水率 (%)		2.31		
⑫ 実績率 $\frac{(\text{⑩} + 100) \times \text{⑧}}{\text{⑩} \times 1000}$ (%)		62.6		
⑬ 空隙率 100 - ⑫ (%)		37.4		

J I S A 1 1 1 0		粗骨材の密度および吸水率試験			報 告 用 紙	
試料名 <u>アスファルト再生骨材 40~0mm</u>				試験期日	令和 7年4月11日	
				試験者名	稲垣 憲一	
				試験温度	20	
測定番号			1	2	3	
① 試験温度における水密度 (g/cm <sup>3</sup> )			0.99820			
② 表面乾燥試料質量 (g)			4179.1	4294.8		
③ 水中試料質量 (g)			2460.1	2530.7		
④ 表乾密度 $\frac{① \times ②}{② - ③}$ (g/cm <sup>3</sup> )			2.427	2.430		
平均値			2.429			
⑤ 乾燥試料質量 (g)			4084.2	4198.7		
⑥ 吸水率 $\frac{② - ⑤}{⑤} \times 100$ (%)			2.32	2.29		
平均値 (%)			2.31			
⑦ 絶乾密度 $\frac{① \times ⑤}{② - ③}$ (g/cm <sup>3</sup> )			2.372	2.376		
平均値			2.374		見掛密度 (2.512)	

J I S A 5 0 0 1		粗骨材のすりへり試験				報 告 用 紙	
試料名 _____					試験期日		
					試験者名		
粒 径 (mm)	質量百分率 (%)	粒度区分	球 数 (個)	回 転 数 (回)	試験前の質量 (g)		
① 試験前の試料の全質量							
② 試験後1.70mmフルイに残った試料の質量 (g)							
③ スリへり損失質量 ①-② (g)							
④ スリへり減量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)							

	破 碎 面 の 判 定 試 験	報 告 用 紙				
試料名 _____	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">試験期日</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>試験者名</td> <td></td> </tr> </table>		試験期日		試験者名	
試験期日						
試験者名						
測 定 番 号	1	2	3			
① 4.75mmふるいととどまる試料質量 (g)						
② 破砕面を持つ試料質量 (g)						
③ 破砕面質量百分率 $\frac{②}{①} \times 100$ (%)						
④ 平 均 値 (%)						
判 定						
備 考	破砕面が30%以上の切込砂利とは、玉石又は砂利、切込砂利等を砕いたもので、4.75mmふるいに止まるもののうち、質量で30%以上が少なくとも一つの破砕面を持つものである。					

J I S A 1 2 0 5	骨 材 の P I 試 験	報 告 用 紙				
試料名 _____	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">試験期日</td> <td style="width: 50%;">7年 4月 15日</td> </tr> <tr> <td>試験者名</td> <td>稲垣憲一</td> </tr> </table>		試験期日	7年 4月 15日	試験者名	稲垣憲一
試験期日	7年 4月 15日					
試験者名	稲垣憲一					
液 性 限 界 試 験	落 下 回 数					
液性限界試験	塑性限界試験					
No.	落下回数	含水比%				
No.	含水比%					
1						
2						
3		N・P				
4						
5						
6						
液性限界LL%	塑性限界PL%	塑性指数 PI				
備考 試料の調整方法などを記入する						

	流動曲線
ω 比 水 如	

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）	
------------------------	-------------------	--

調査件名 藤コンクリート 株式会社

試験年月日 令和 7年 4月 14日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40～0mm

試験者 稲垣 憲一

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法, <del>湿潤法</del>	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用法		<del>繰返し法</del> , 非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ <sup>1)</sup> cm	12.50
含水比	試料分取後 $w_0$ %		突固め回数 回/層	92		容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209
	乾燥処理後 $w_1$ %	5.5	突固め層数 層	3		質量 $m_i$ <sup>2)</sup> g	6425
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 $m_z$ <sup>2)</sup> g		10716	10779	10853	10946		
湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		1.943	1.971	2.005	2.047		
平均含水比 $w$ %		5.5	6.0	6.6	7.3		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.842	1.859	1.881	1.908		
含水比	容器 No.						
	$m_a$ g	4291	4354	4428	4521		
	$m_b$ g	4067	4108	4154	4213		
	$m_c$ g						
	$w$ %	5.5	6.0	6.6	7.3		
比	容器 No.						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 $m_z$ <sup>2)</sup> g		11018	10958				
湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.079	2.052				
平均含水比 $w$ %		8.4	8.9				
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.918	1.884				
含水比	容器 No.						
	$m_a$ g	4593	4533				
	$m_b$ g	4237	4163				
	$m_c$ g						
	$w$ %	8.4	8.9				
比	容器 No.						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						

特記事項

- 1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w/100}$$

# 修正 C B R 試 験

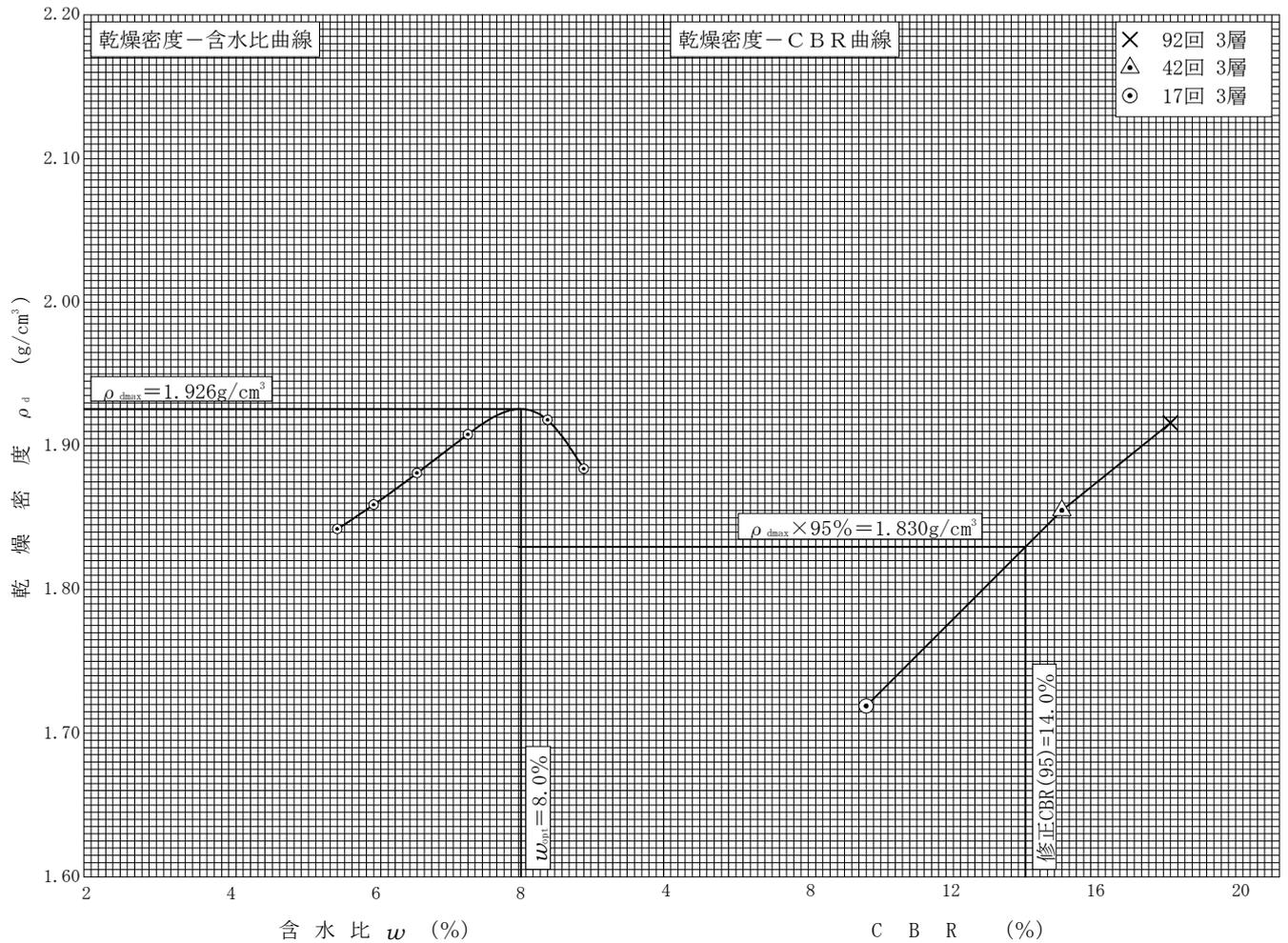
調査件名 藤コンクリート 株式会社

試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm

試験者 稲垣 憲一

突 固 め 回 数	92 ( 3 層 )			42 ( 3 層 )			17 ( 3 層 )		
供 試 体 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
乾 燥 密 度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.920	1.867	1.841	1.857	1.718	1.739	1.701
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916			1.855			1.719		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	15.1	12.8	18.4	14.0	8.4	11.6	7.9	9.6	6.1
平 均 値 %	15.4			11.3			7.9		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	17.6	15.9	20.6	17.6	11.8	15.6	9.6	11.4	7.8
平 均 値 %	18.0			15.0			9.6		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.926	締 固 め 度 %	95				
		最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0	修 正 C B R %	14.0				



特記事項

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称				
突固め方法	E-b	落下高さ cm	45	自然含水比 $w_n$ %				
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0		
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.926		
	試料調製後含水比 $w_0$ %		モールド	内径 cm 高さ cm	15 12.5	荷重板質量 kg モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	5 2209	
供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.							
	$m_a$ g							
	$m_b$ g							
	$m_c$ g							
	$w_1$ %							
平均値 $w_1$ %		7.9		7.9		7.9		
密度	(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	11068		10939		11044		
	モールド質量 $m_1$ g	6502		6384		6468		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.067		2.062		2.072		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916		1.911		1.920		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	48		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	72		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
試験	(試料+モールド) 質量 $m_3$ g	11117		10990		11094		
	膨張比 $r_e$ %	0.000		0.000		0.000		
	湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.089		2.085		2.094		
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916		1.911		1.920		
	平均含水比 $w'$ %	9.0		9.1		9.1		

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。  
 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V (1 + r_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e / 100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (貫入試験)
------------------------	------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験条件		水浸, <del>非水浸</del>		貫入速度 mm/min		1.0		荷重板質量 kg		5				
養生条件		日空气中		荷重計 No.				貫入ピストンの断面積 cm <sup>2</sup>		19.63				
		4日水浸		容量 kN		20		校正係数 $\frac{\text{MN/m}^2/\text{目盛}}{\text{kN/目盛}}$		1				
供試体 No.		1		供試体 No.		2		供試体 No.		3				
貫入量 mm		荷重強さ, 荷重		貫入量 mm		荷重強さ, 荷重		貫入量 mm		荷重強さ, 荷重				
読み		荷重計		読み		荷重計		読み		荷重計				
平均		$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$		平均		$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$		平均		$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$				
1	2	の読み	kN	1	2	の読み	kN	1	2	の読み	kN			
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
0.50	0.50	0.50	0.52	0.52	0.50	0.50	0.50	0.48	0.48	0.50	0.50	0.50	0.73	0.73
1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.76	0.76	1.00	1.00	1.00	1.20	1.20
1.50	1.50	1.50	1.36	1.36	1.50	1.50	1.50	1.10	1.10	1.50	1.50	1.50	1.69	1.69
2.00	2.00	2.00	1.67	1.67	2.00	2.00	2.00	1.44	1.44	2.00	2.00	2.00	2.10	2.10
2.50	2.50	2.50	2.02	2.02	2.50	2.50	2.50	1.71	1.71	2.50	2.50	2.50	2.46	2.46
3.00	3.00	3.00	2.32	2.32	3.00	3.00	3.00	2.02	2.02	3.00	3.00	3.00	2.82	2.82
4.00	4.00	4.00	2.90	2.90	4.00	4.05	4.03	2.60	2.60	4.00	4.00	4.00	3.47	3.47
5.00	5.00	5.00	3.51	3.51	5.00	5.00	5.00	3.16	3.16	5.00	5.00	5.00	4.09	4.09
7.50	7.50	7.50	4.87	4.87	7.50	7.50	7.50	4.43	4.43	7.50	7.50	7.50	5.60	5.60
10.00	10.00	10.00	6.35	6.35	10.00	10.00	10.00	5.87	5.87	10.00	10.00	10.00	7.01	7.01
12.50					12.50					12.50				
貫入試験後の含水比	容器No.				貫入試験後の含水比	容器No.				貫入試験後の含水比	容器No.			
	$m_a$ g	1807.5				$m_a$ g	1835.7				$m_a$ g	1792.8		
	$m_b$ g	1676.1				$m_b$ g	1700.8				$m_b$ g	1661.2		
	$m_c$ g	147.6				$m_c$ g	150.2				$m_c$ g	149.1		
	$w_2$ %	8.6				$w_2$ %	8.7				$w_2$ %	8.7		
平均値 $w_2$ %	8.6				平均値 $w_2$ %	8.7				平均値 $w_2$ %	8.7			

特記事項

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (室内試験結果)
------------------------	--------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社

試験年月日 令和 7年 4月 19日

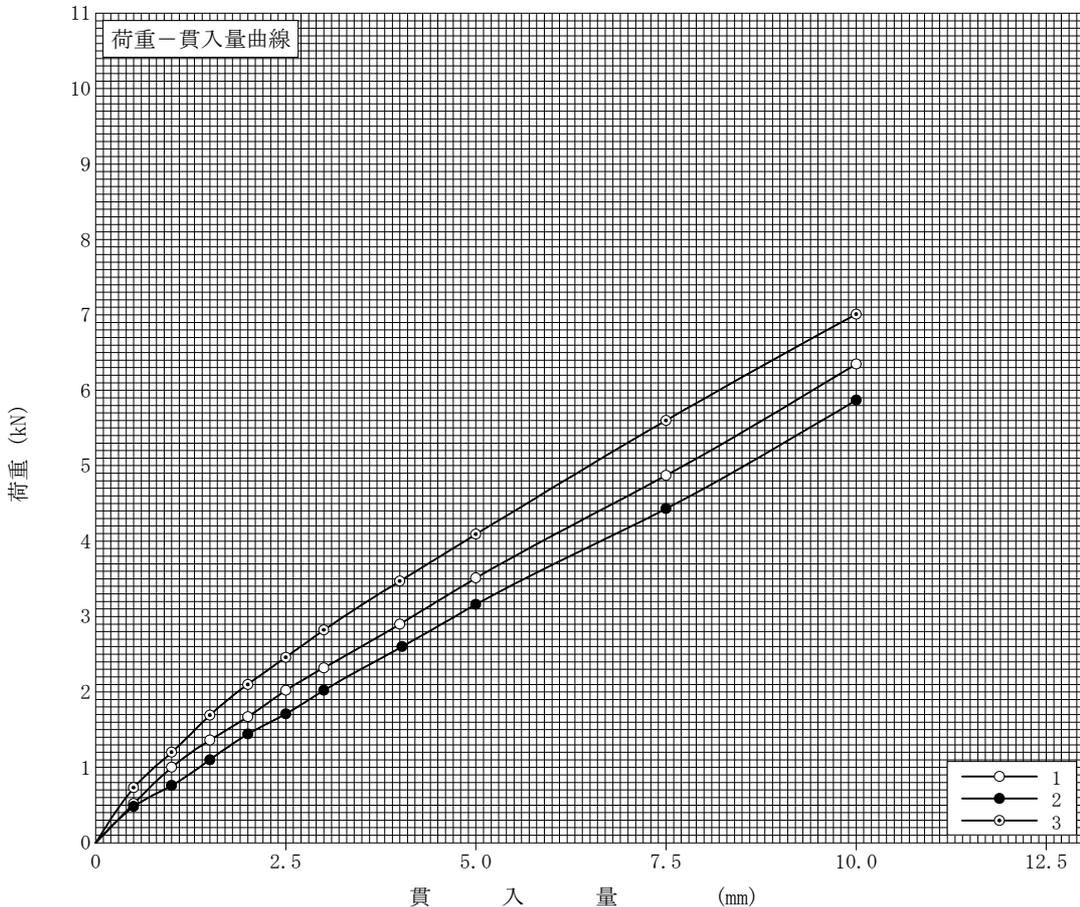
試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm

試験者 稲垣 憲一

試験方法	締め固め土、乱さない	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0
養生条件	日空气中 4日水浸	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
			高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	7.9	7.9	7.9
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.920
	後	膨張比 $r_e$ %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 $w'$ %	9.0	9.1	9.1
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.916	1.911	1.920
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		8.6	8.7	8.7
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		15.1	12.8	18.4
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		17.6	15.9	20.6
	C B R %		17.6	15.9	20.6

平均 C B R %
18.0



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm		2.5	5.0
荷重 標準 荷重	供試体 No.1	2.02	3.51
	供試体 No.2	1.71	3.16
	供試体 No.3	2.46	4.09
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>		6.9	10.3
標準荷重 kN		13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称				
突固め方法	E-b	落下高さ cm	45	自然含水比 $w_n$ %				
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0		
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.926		
	試料調製後含水比 $w_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5	
			高さ cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209		
供試体 No.		4		5		6		
含水比	容器 No.							
	$m_a$ g							
	$m_b$ g							
	$m_c$ g							
	$w_1$ %							
平均値 $w_1$ %		7.9		7.9		7.9		
密度	(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	10810		10728		10808		
	モールド質量 $m_1$ g	6358		6342		6382		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.015		1.986		2.004		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.867		1.841		1.857		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	48		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	72		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
試験	(試料+モールド) 質量 $m_3$ g	10867		10785		10867		
	膨張比 $r_e$ %	0.000		0.000		0.000		
	湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	2.041		2.011		2.030		
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.867		1.841		1.857		
	平均含水比 $w'$ %	9.3		9.2		9.3		

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。  
 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V (1 + r_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_e / 100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (貫入試験)	
------------------------	------------------	--

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験条件			水浸, <del>非水浸</del>		貫入速度 mm/min			1.0		荷重板質量 kg		5		
養生条件			日空气中		荷重計 No.					貫入ピストンの断面積 cm <sup>2</sup>		19.63		
			4 日水浸		容量 kN			20		校正係数 $\frac{\text{MN/m}^2}{\text{目盛}}$ kN/目盛		1		
供試体 No.			4		供試体 No.			5		供試体 No.		6		
貫入量 mm			荷重強さ, 荷重		貫入量 mm			荷重強さ, 荷重		貫入量 mm		荷重強さ, 荷重		
読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN	読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN	読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN
1	2				1	2				1	2			
0.00	0.00	0.00	-0.02	-0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.50	0.50	0.50	0.51	0.51	0.50	0.50	0.50	0.26	0.26	0.50	0.50	0.50	0.42	0.42
1.00	1.00	1.00	0.91	0.91	1.00	1.00	1.00	0.48	0.48	1.00	1.00	1.00	0.75	0.75
1.50	1.50	1.50	1.25	1.25	1.50	1.50	1.50	0.70	0.70	1.50	1.50	1.50	1.02	1.02
2.00	2.00	2.00	1.57	1.57	2.00	2.00	2.00	0.93	0.93	2.00	2.00	2.00	1.27	1.27
2.50	2.50	2.50	1.87	1.87	2.50	2.50	2.50	1.13	1.13	2.50	2.50	2.50	1.56	1.56
3.00	3.00	3.00	2.19	2.19	3.00	3.00	3.00	1.38	1.38	3.00	3.00	3.00	1.90	1.90
4.00	4.00	4.00	2.87	2.87	4.00	4.00	4.00	1.83	1.83	4.00	4.00	4.00	2.49	2.49
5.00	5.00	5.00	3.50	3.50	5.00	5.00	5.00	2.35	2.35	5.00	5.00	5.00	3.11	3.11
7.50	7.50	7.50	5.08	5.08	7.50	7.50	7.50	3.68	3.68	7.50	7.50	7.50	4.66	4.66
10.00	10.00	10.00	6.54	6.54	10.00	10.00	10.00	5.04	5.04	10.00	10.00	10.00	6.14	6.14
12.50					12.50					12.50				
貫入試験後の含 水比	容器No.				貫入試験後の含 水比	容器No.				貫入試験後の含 水比	容器No.			
	$m_a$ g	1778.3				$m_a$ g	1818.4				$m_a$ g	1824.1		
	$m_b$ g	1644.4				$m_b$ g	1683.6				$m_b$ g	1686.3		
	$m_c$ g	140.5				$m_c$ g	151.5				$m_c$ g	154.8		
	$w_2$ %	8.9				$w_2$ %	8.8				$w_2$ %	9.0		
	平均値 $w_2$ %	8.9				平均値 $w_2$ %	8.8				平均値 $w_2$ %	9.0		

特記事項

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (室内試験結果)
------------------------	--------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社

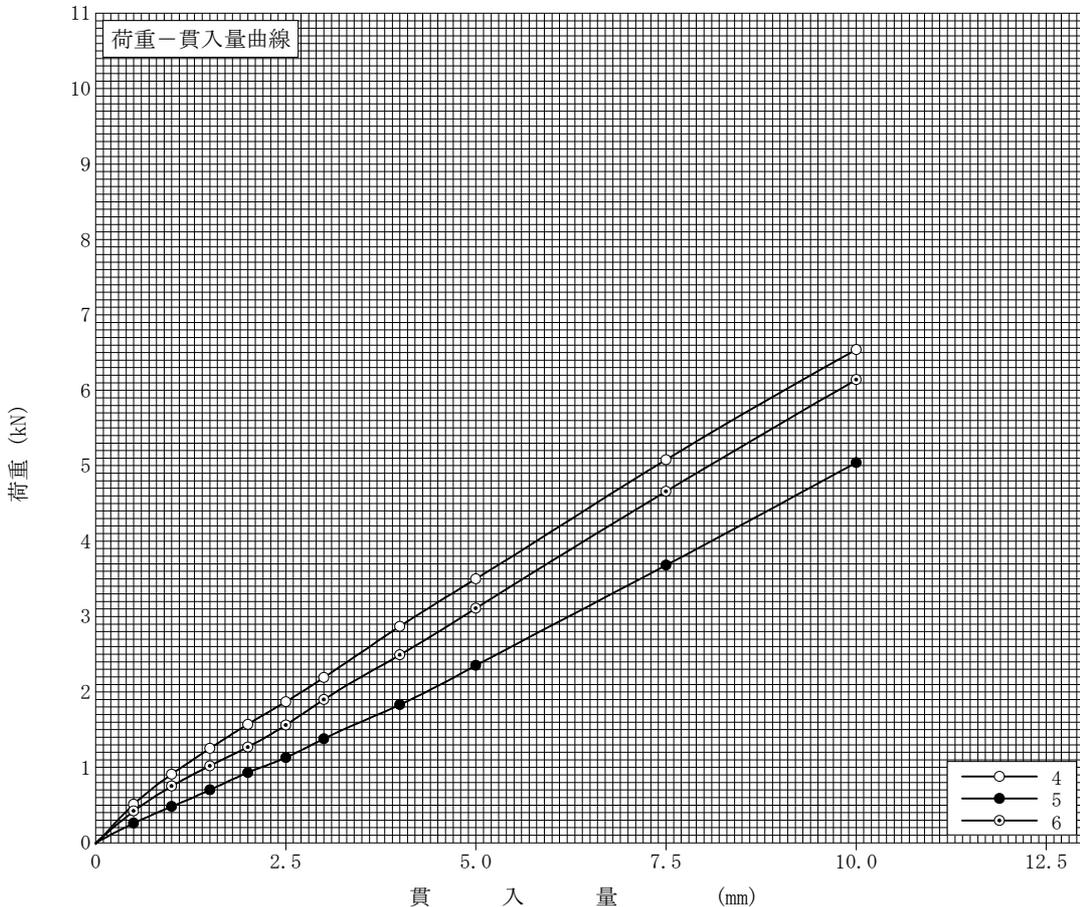
試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm

試験者 稲垣 憲一

試験方法	締め固め土、 <del>乱さない</del> 主	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	<del>非乾燥法</del> , 空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	4日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	
供試体 No.		4		5		6
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	7.9		7.9	
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.867		1.841	
	後	膨張比 $r_e$ %	0.000		0.000	
		平均含水比 $w'$ %	9.3		9.2	
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.867		1.841	
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		8.9		8.8	
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		14.0		8.4	
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		17.6		11.8	
	C B R %		17.6		11.8	

平均 C B R %
15.0



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.4	1.87	3.50
供試体 No.5	1.13	2.35
供試体 No.6	1.56	3.11
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試験 (初期状態, 吸水膨張試験)
------------------------	-------------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称				
突固め方法	E-b	落下高さ cm	45	自然含水比 $w_n$ %				
試料準備	準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0		
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>	1.926		
	試料調製後含水比 $w_0$ %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5	
			高さ cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>	2209		
供試体 No.		7		8		9		
含水比	容器 No.							
	$m_a$ g							
	$m_b$ g							
	$m_c$ g							
	$w_1$ %							
平均値 $w_1$ %		7.9		7.9		7.9		
密度	(試料+モールド) 質量 $m_2^{2)}$ g	10513		10643		10527		
	モールド質量 $m_1^{2)}$ g	6418		6500		6473		
	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.854		1.876		1.835		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.718		1.739		1.701		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	48		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	72		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
試験	(試料+モールド) 質量 $m_3^{2)}$ g	10581		10710		10596		
	膨張比 $r_e$ %	0.000		0.000		0.000		
	湿潤密度 $\rho'_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.885		1.906		1.866		
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.718		1.739		1.701		
	平均含水比 $w'$ %	9.7		9.6		9.7		

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。  
 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V (1 + r_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_3}{1 + r_e / 100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (貫入試験)	
------------------------	------------------	--

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験条件			水浸, <del>非水浸</del>		貫入速度 mm/min			1.0		荷重板質量 kg		5		
養生条件			日空气中		荷重計 No.					貫入ピストンの断面積 cm <sup>2</sup>		19.63		
			4日水浸		容量 kN			20		校正係数 $\frac{\text{MN/m}^2}{\text{目盛}}$ kN/目盛		1		
供試体 No.			7		供試体 No.			8		供試体 No.		9		
貫入量 mm			荷重強さ, 荷重		貫入量 mm			荷重強さ, 荷重		貫入量 mm		荷重強さ, 荷重		
読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN	読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN	読 み		平均	荷重計 の読み	$\frac{\text{MN}}{\text{m}^2}$ kN
1	2				1	2				1	2			
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.50	0.50	0.50	0.27	0.27	0.50	0.50	0.50	0.35	0.35	0.50	0.50	0.50	0.20	0.20
1.00	1.00	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00	0.63	0.63	1.00	1.00	1.00	0.34	0.34
1.50	1.50	1.50	0.68	0.68	1.50	1.50	1.50	0.87	0.87	1.50	1.50	1.50	0.52	0.52
2.00	2.00	2.00	0.88	0.88	2.00	2.00	2.00	1.08	1.08	2.00	2.00	2.00	0.67	0.67
2.50	2.50	2.50	1.06	1.06	2.50	2.50	2.50	1.29	1.29	2.50	2.50	2.50	0.82	0.82
3.00	3.00	3.00	1.26	1.26	3.00	3.00	3.00	1.51	1.51	3.00	3.00	3.00	0.98	0.98
4.00	4.00	4.00	1.59	1.59	4.00	4.00	4.00	1.93	1.93	4.00	4.00	4.00	1.26	1.26
5.00	5.00	5.00	1.91	1.91	5.00	5.00	5.00	2.26	2.26	5.00	5.00	5.00	1.55	1.55
7.50	7.50	7.50	2.48	2.48	7.50	7.50	7.50	2.91	2.91	7.50	7.50	7.50	2.08	2.08
10.00	10.00	10.00	2.93	2.93	10.00	10.00	10.00	3.35	3.35	10.00	10.00	10.00	2.40	2.40
12.50					12.50					12.50				
貫入試験後の含水比	容器No.				貫入試験後の含水比	容器No.				貫入試験後の含水比	容器No.			
	$m_a$ g	1841.2				$m_a$ g	1797.5				$m_a$ g	1802.5		
	$m_b$ g	1697.2				$m_b$ g	1658.9				$m_b$ g	1662.1		
	$m_c$ g	148.5				$m_c$ g	152.2				$m_c$ g	152.9		
	$w_2$ %	9.3				$w_2$ %	9.2				$w_2$ %	9.3		
	平均値 $w_2$ %		9.3			平均値 $w_2$ %		9.2			平均値 $w_2$ %		9.3	

特記事項

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

JIS A 1211 JGS 0721	C B R 試 験 (室内試験結果)
------------------------	--------------------

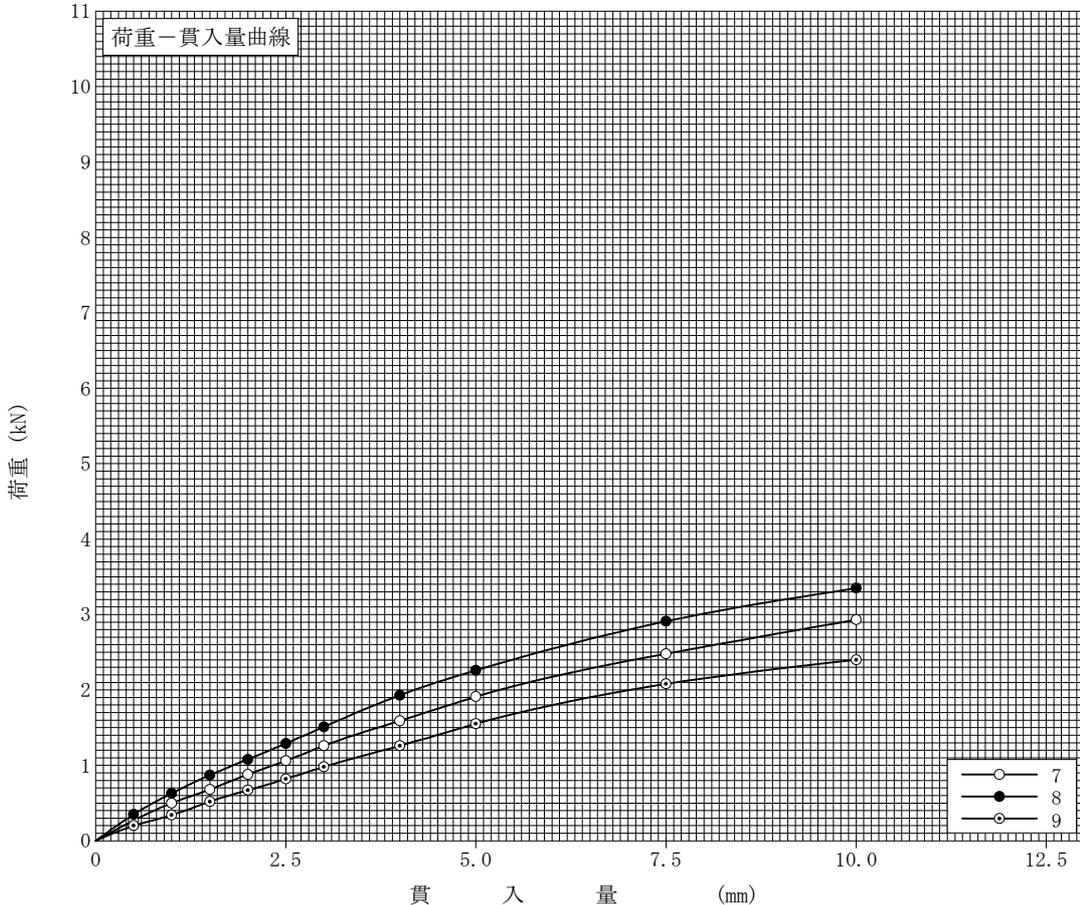
調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 19日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm 試験者 稲垣 憲一

試験方法	締め固め土、乱さない	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 $w_n$ %	
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	8.0
養生条件	日空气中 4日水浸	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
			高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	

供試体 No.		7	8	9	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	7.9	7.9	7.9
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.718	1.739	1.701
	後	膨張比 $r_e$ %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 $w'$ %	9.7	9.6	9.7
貫入試験		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.718	1.739	1.701
		試験後の含水比 $w_2$ %	9.3	9.2	9.3
		貫入量2.5mmにおけるCBR%	7.9	9.6	6.1
		貫入量5.0mmにおけるCBR%	9.6	11.4	7.8
	C B R %	9.6	11.4	7.8	

平均 C B R %
9.6



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

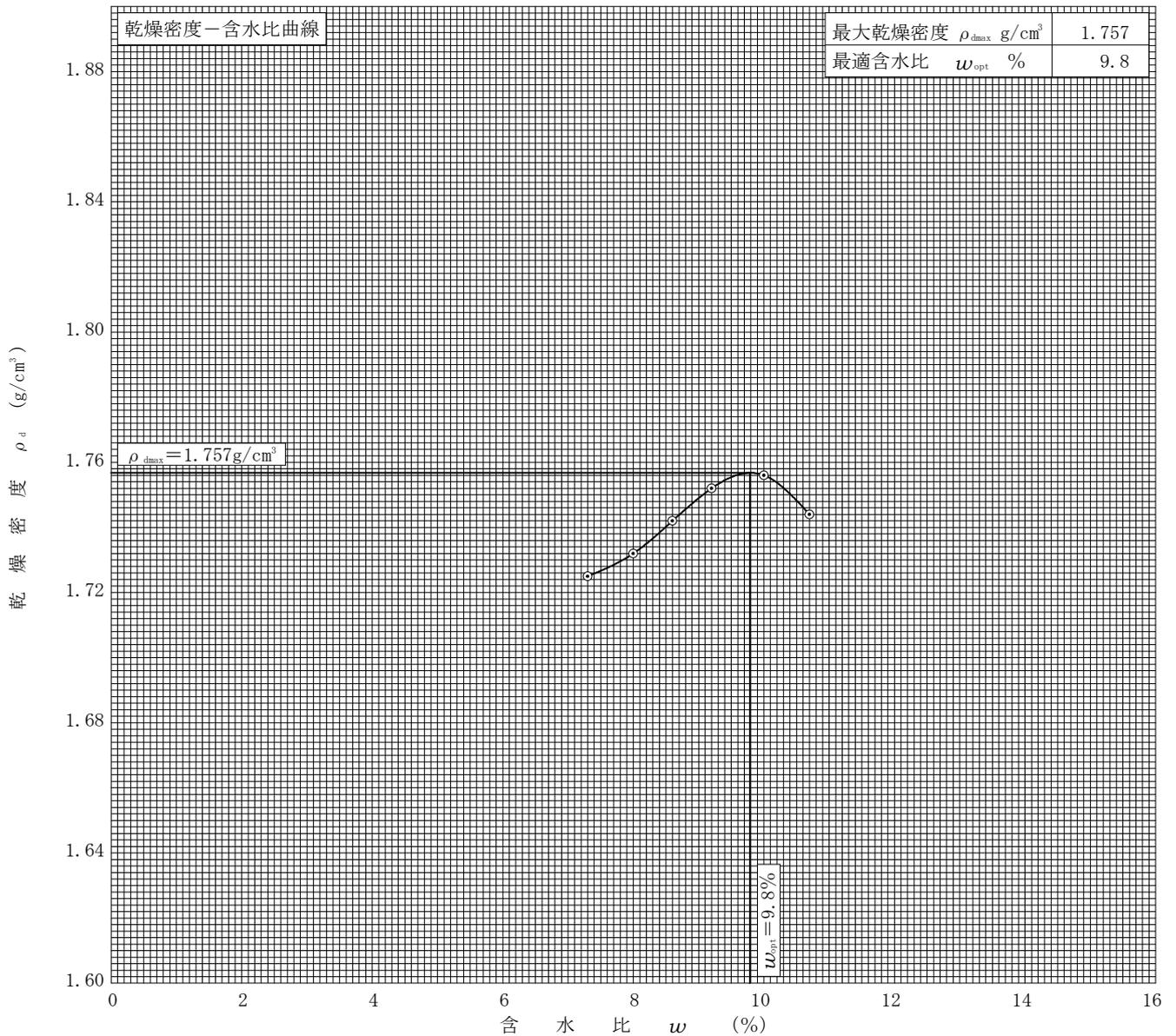
貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.7	1.06	1.91
供試体 No.8	1.29	2.26
供試体 No.9	0.82	1.55
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)
------------------------	-----------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 12日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm (5mm以下の試料) 試験者 稲垣 憲一

試験方法	A-c		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg	2.5	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			
試料の使用法	繰返し法, 非繰返し法		落下高さ cm	30	試料調製前の最大粒径 mm			
含水比	試料分取後 $w_0$ %		突固め回数 回/層	25	モールド	内径 cm	10	
	乾燥処理後 $w_1$ %		突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> cm	12.73	
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $w$ %	10.7	10.0	9.2	8.6	8.0	7.3		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.744	1.756	1.752	1.742	1.732	1.725		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。  
ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名 藤コンクリート 株式会社 試験年月日 令和 7年 4月 12日

試料番号 (深さ) アスファルト再生骨材 40~0mm (5mm以下の試料) 試験者 稲垣 憲一

試験方法		A-c	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法, 湿潤法	ランマー質量 kg	2.5	モ ー ル ド	内径 cm	10
試料の使用方法		繰返し法, 非繰返し法	落下高さ cm	30		高さ <sup>1)</sup> cm	12.73
含水比	試料分取後 $w_0$ %		突固め回数 回/層	25		容量 $V$ cm <sup>3</sup>	1000
	乾燥処理後 $w_1$ %		突固め層数 層	3		質量 $m_t$ <sup>2)</sup> g	1774
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド) 質量 $m_z$ <sup>2)</sup> g		3705	3706	3687	3666		
湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		1.931	1.932	1.913	1.892		
平均含水比 $w$ %		10.7	10.0	9.2	8.6		
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.744	1.756	1.752	1.742		
含 水 比	容器 No.						
	$m_a$ g	1931	1932	1913	1892		
	$m_b$ g	1744	1756	1752	1742		
	$m_c$ g						
	$w$ %	10.7	10.0	9.2	8.6		
比	容器 No.						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド) 質量 $m_z$ <sup>2)</sup> g		3645	3625				
湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		1.871	1.851				
平均含水比 $w$ %		8.0	7.3				
乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.732	1.725				
含 水 比	容器 No.						
	$m_a$ g	1871	1851				
	$m_b$ g	1732	1725				
	$m_c$ g						
	$w$ %	8.0	7.3				
比	容器 No.						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						

特記事項

- 1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w/100}$$

## 凍上試験結果報告用紙

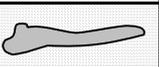
調査名 藤コンクリート 株式会社

試料名 アスファルト再生骨材40~0mm

試験者 稲垣 憲一

試験年月日 令和7年4月14日~4月21日

### 凍結様式

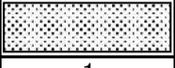
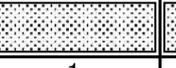
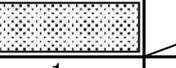
番号	1	2	3	4	5
様式	コンクリート状凍結	微細霜降状を含む コンクリート状凍結	微細霜降状凍結	霜降状凍結	霜柱状凍結
形状					
説明	氷晶がまったく認められない	一部に氷晶がこまかく入っている	氷晶がこまかく切れぎれに入っている	1~2mm厚程度の氷晶が入っている	純霜柱の発達したもの

### 判定

番号	凍結様式	凍上率	判定
1	コンクリート状凍結(氷粒散在を含む)	20%未満	合格
		20%以上	要注意
2	部分的な極微細霜降状凍結を含むコンクリート状凍結	20%未満	要注意
		20%以上	不合格
3	微細霜降、霜柱氷層等明らかに氷晶分離の傾向ある凍結	凍上率の大きさに関係なく	不合格
4			
5			

注: 要注意のものは、わずかの凍上も許せない場合には使用してはならない。構造物の性質によって多少の凍上を許すことのできるものは、土質試験結果および地中水の状態などを考慮し可否を決定する。

### 試験結果

モールド番号	1	2	3	平均
スケッチ				
凍結様式	1	1	1	
凍上率%	11.3	10.6	10.8	10.9
判定	合格	合格	合格	

## 凍上試験データシート

調査名 藤コンクリート 株式会社  
 試料名 アスファルト再生骨材40~0mm  
 試験年月日 令和7年4月14日~4月21日  
 試験条件 冷却温度 $-4^{\circ}\text{C}$  水中温度 $3^{\circ}\text{C}$   
 供試体寸法  $L=3.0\text{cm}$   $\phi 8.0\text{cm}$   $V=150.8\text{cm}^3$

モールド番号	1	2	3
供試体作成含水比 $W(\%)$	ma 734.4	ma 745.1	ma 726.2
	mb 678.5	mb 688.4	mb 670.9
	mc 108.4	mc 111.8	mc 107.8
	w= 9.8	w= 9.8	w= 9.8
供試体+モールド質量(g)	338.6	339.3	338.9
モールド質量 (g)	47.7	48.4	48.0
供試体質量 (g)	290.9	290.9	290.9
湿潤密度 $\rho_t(\text{g}/\text{cm}^3)$	1.929	1.929	1.929
乾燥密度 $\rho_d(\text{g}/\text{cm}^3)$	1.757	1.757	1.757
吸水後全質量 (g)	344.9	345.3	345.0
吸水質量 (g)	6.3	6.0	6.1
凍結後全質量 (g)	351.6	351.5	351.4
凍結後吸水質量(g)	6.7	6.2	6.4
凍結後含水比 (%)	ma 302.8	ma 295.2	ma 305.3
	mb 277.5	mb 270.9	mb 280.3
	mc 106.6	mc 103.8	mc 109.4
	w= 14.8	w= 14.5	w= 14.6
凍上量 (mm)	3.38	3.17	3.25
凍上率 (%)	11.3	10.6	10.8
凍結様式	1	1	1



凍上試験

アスファルト再生骨材40~0mm

試験状況

2025-04-14



凍上試験

アスファルト再生骨材40~0mm

供試体No.1 試験後

2025-04-21



凍上試験

アスファルト再生骨材40~0mm

供試体No.2 試験後

2025-04-21



凍上試験

アスファルト再生骨材40~0mm

供試体No.3 試験後

2025-04-21